

VIEW

No. 1

発行責任者 多田 一夫

発行編集者 教 宣 部

最近、「一日予備」って、多くない！

最近、会社の都合でB班では一日中（A交・P交とも）C編成が入る日があり、予備者が多くなっています。しかも、本年度採用の新採が配属になり以前にまして一日中予備に指定されることが多くなっています。

ここで問題なのは、

一日予備では検修手当（一日500円）がつかないことです！

ある社員は、出勤したのに一週間も予備で検修手当（500円）がつかない社員がいるのです。昼食代ぐらいになるのに・・・。

皆さん自分の給料明細をみてください。これまでは検修手当で一ヶ月1万円（500円×20日）ぐらいはついているはずですが、一日予備が多い人は「手当が減る」と嘆いています。

これが会社の言う「コスト削減」なのでしょうか？

このままでは「コスト削減」をした管理者はほめられるでしょうが、現場社員は嘆くしかありません。

私達、J R 東海 労大 交両 分会は

出勤したら検修手当（500円）がつくように制度を改正すべきと考えます。

それがだめなら、

せめて一日の予備はやめて、半日づつ（A交かP交のどちらか）にすべきです！！

皆さん！！

現場からみんなで声を上げて、予備を現場社員みんなで分かち合い、出勤日分の検修手当を獲得しましょう！！